

# 配色とその構成色との嗜好間の 相関についての検討

近 藤 信 子  
Nobuko Kondō

## 1. 目 的

色彩嗜好調査については、すでに多くの研究報告があるが、ここでは、それらを参考にしながら、配色における嗜好調査および、その配色構成色（以下、単色と呼ぶ）との嗜好調査を行い、両者の嗜好傾向の関連を次に示す方法により検討した。

## 2. 方 法

### 2.1 試料と調査用紙

配色の試料および調査用紙は、日本色彩研究所編・著・監修による「基本色彩掛図（色感テスト編）」のテスト3における2色配色50サンプルを用いた。これらの配色は Table 1 の基本配色に示す。調査用紙は Table 2 のような内容である。

単色の試料は上記の2色配色を構成している100色で、この内、重複して組み合わせに用いた色があるので、計76色（Table 1 調査色票）である。この76色は P. C. C. S. 体系から系統的に選ばれた色で、3.5cm×2.0cmの大きさに切断した光沢色紙を、B4版台紙に貼布したものを使用した。調査用紙は配色と同じく、色番号1～76までの解答欄に○×で記入させた。

### 2.2 対象

中国短期大学家政科学生77名である。

### 2.3 調査時期

1984年11月24日～11月30日、午前11時～12時、晴天に北窓に面した昼光のもとに実施した。

### 2.4 調査実施方法

2色配色については、次々にサンプルを提示し、各自に配布した調査用紙に記入させた。単色については、調査色票と調査用紙を各自に配布し記入させた。

### 2.5 集計

○印のついたものが好きな配色・単色得点、×印のついたものが嫌いな配色・単色得点とし、配色基準別に集計を行った。今回は“好き嫌いどちらでもない”についての集計はしなかった。

配色基準は色相の関係においては、同一色相、類似色相、中差色相、対照色相、無彩色の配色、無彩色と有彩色の配色、トーン（色の明暗・強弱の関係）においては、同一トーン、類似トーン、対照トーンの9種類の基本分類である。

配色とその構成色との嗜好間の相関

Table 1 基本配色および調査色票

基本配色	調査色票	P. C. C. S. 記号	基本配色	調査色票	P. C. C. S. 記号
No. 01	No. 01 No. 02	19. p B - 3.5 - 9 s 20. V - 3.5 - 9 s	No. 26	No. 45 No. 46	20. V - 8.0 - 3 s 4. r O - 4.5 - 8 s
No. 02	No. 03 No. 04	1. p R - 5.5 - 8 s 2. R - 6.0 - 8 s	No. 27	No. 18 No. 47	3. y R - 5.0 - 9 s 16. g B - 4.0 - 9 s
No. 03	No. 05 No. 06	12. G - 8.5 - 3 s 12. G - 7.0 - 8 s	No. 28	No. 29 No. 48	10. Y G - 7.0 - 3 s 22. P - 6.0 - 3 s
No. 04	No. 07 No. 08	18. B - 6.5 - 6 s 18. B - 4.0 - 6 s	No. 29	No. 49 No. 27	6. y O - 6.0 - 6 s 16. g B - 4.5 - 6 s
No. 05	No. 09 No. 10	8. Y - 4.0 - 5 s 8. Y - 9.0 - 6 s	No. 30	No. 50 No. 38	14. B G - 7.5 - 6 s 24. R P - 7.0 - 6 s
No. 06	No. 02 No. 11	20. V - 3.5 - 9 s 20. V - 6.0 - 3 s	No. 31	No. 51 No. 52	13. b G - 6.5 - 8 s 23. R P - 4.0 - 9 s
No. 07	No. 12 No. 13	6. y O - 7.0 - 9 s 5. O - 2.4 - 3 s	No. 32	No. 51 No. 53	13. b G - 6.5 - 8 s 20. V - 3.0 - 3 s
No. 08	No. 14 No. 15	2. R - 2.4 - 5 s 22. P - 1.8 - 5 s	No. 33	No. 54 No. 55	14. B G - 6.5 - 3 s 24. R P - 3.0 - 3 s
No. 09	No. 16 No. 17	15. B G - 4.0 - 9 s 18. B - 3.5 - 9 s	No. 34	No. 50 No. 56	14. B G - 7.5 - 6 s 5. O - 8.5 - 3 s
No. 10	No. 18 No. 19	3. y R - 5.0 - 9 s 24. R P - 3.0 - 8 s	No. 35	No. 32 No. 07	8. Y - 8.0 - 9 s 18. B - 6.5 - 6 s
No. 11	No. 20 No. 21	18. B - 5.0 - 8 s 22. P - 3.5 - 9 s	No. 36	No. 57 No. 58	16. g B - 8.0 - 3 s 1. p R - 4.0 - 9 s
No. 12	No. 22 No. 23	10. Y G - 9.0 - 3 s 5. O - 6.5 - 3 s	No. 37	No. 59 No. 60	2. R - 8.5 - 3 s 14. B G - 3.5 - 8 s
No. 13	No. 24 No. 25	22. P - 8.0 - 3 s 19. p B - 2.4 - 8 s	No. 38	No. 61 No. 62	n - 6.5 (n 6.5) n - 5.5 (n 5.5)
No. 14	No. 26 No. 14	4. r O - 7.0 - 8 s 2. R - 2.4 - 5 s	No. 39	No. 63 No. 64	n - 2.4 (n 2.4) n - 4.5 (n 4.5)
No. 15	No. 05 No. 27	12. G - 8.5 - 3 s 16. g B - 4.5 - 6 s	No. 40	No. 65 No. 66	n - 3.5 (n 3.5) n - 8.5 (n 8.5)
No. 16	No. 28 No. 29	4. r O - 6.5 - 3 s 10. Y G - 7.0 - 3 s	No. 41	No. 67 No. 68	n - 1.0 (n 1.0) n - 9.5 (n 9.5)
No. 17	No. 30 No. 31	2. R - 3.5 - 8 s 9. g Y - 6.0 - 8 s	No. 42	No. 66 No. 63	n - 8.5 (n 8.5) n - 2.4 (n 2.4)
No. 18	No. 32 No. 33	8. Y - 8.0 - 9 s 2. R - 4.5 - 9 s	No. 43	No. 61 No. 69	n - 6.5 (n 6.5) 12. G - 6.5 - 3 s
No. 19	No. 34 No. 04	8. Y - 8.5 - 8 s 2. R - 6.0 - 8 s	No. 44	No. 70 No. 67	8. Y - 4.0 - 3 s n - 1.0 (n 1.0)
No. 20	No. 35 No. 36	10. Y G - 5.5 - 8 s 17. B - 4.0 - 9 s	No. 45	No. 71 No. 67	18. B - 6.0 - 3 s n - 1.0 (n 1.0)
No. 21	No. 37 No. 38	8. Y - 6.5 - 6 s 24. R P - 7.0 - 6 s	No. 46	No. 72 No. 73	n - 7.5 (n 7.5) 12. G - 3.5 - 3 s
No. 22	No. 39 No. 40	5. O - 7.5 - 8 s 24. R P - 5.5 - 8 s	No. 47	No. 72 No. 74	n - 7.5 (n 7.5) 18. B - 2.4 - 8 s
No. 23	No. 12 No. 41	6. y O - 7.0 - 9 s 13. b G - 4.0 - 8 s	No. 48	No. 67 No. 75	n - 1.0 (n 1.0) 7. r Y - 8.0 - 9 s
No. 24	No. 37 No. 42	8. Y - 6.5 - 6 s 16. g B - 3.0 - 3 s	No. 49	No. 65 No. 76	n - 3.5 (n 3.5) 21. P - 3.5 - 9 s
No. 25	No. 43 No. 44	6. y O - 8.5 - 6 s 14. B G - 3.5 - 3 s	No. 50	No. 62 No. 47	n - 5.5 (n 5.5) 16. g B - 4.0 - 9 s

Table 2 調査用紙

## テスト3 (配色集C編)

これから50の2色配色をつぎつぎにお見せします。用途や機能などは考えないで、直観的に好きか嫌いかを判断して下さい。

好きだと感じたら○、嫌いだと感じたら×を解答欄に記入して下さい。どうしても判断がつかないときは空欄のまま残して下さい。

No.	解答	No.	解答	No.	解答	No.	解答	No.	解答	No.	解答	No.	解答	No.	解答
1		8		16		27									
2		9		17		28									
				18		29									
				19		30									
3		10		20		31		38		43					
4		11		21		32		39		44					
				22		33				45					
				23		34				46					
5		13		24		35		40		47					
6		14		25		36		41		48					
7		15		26		37		42		49					
										50					

2 3 4 5 6 7

11 12 13 14 15 16 17

S 2 S 3 S 4 S 5 S 6

## 配色基準別番号

- ①同一色相 No. 1～7 (試料数7)
- ②類似色相 No. 8～15 (試料数8)
- ③中差色相 No. 16～26 (試料数11)
- ④対照色相 No. 27～37 (試料数11)
- ⑤無彩色の配色 No. 38～42 (試料数5)
- ⑥無彩色と有彩色の配色 No. 43～50 (試料数8)
- ⑦同一トーン No. 1, 2, 8, 9, 16, 17, 18, 19, 27, 28, 29, 30 (試料数12)
- ⑧類似トーン No. 3, 4, 10, 11, 12, 20, 21, 22, 23, 31, 32, 33, 34, 38, 39, 43, 44, 45, 46 (試料数19)
- ⑨対照トーン No. 5, 6, 7, 13, 14, 15, 24, 25, 26, 35, 36, 37, 40, 41, 42, 47, 48, 49, 50 (試料数19)

## 3. 結果および考察

## 3.1 配色基準別の色彩嗜好結果

Table 2 の調査用紙から、9種類の基本的配色別に結果が得られるようになっている。したがって、配色基準の好みの全体像がとらえられる。77名の得点について集計を行い、配色基準別の最高値、最低値、平均値、標準偏差、平均値/試料数(好き-嫌い評価の度合とする)を Table 3 に示す。

“好き-嫌い”の差の最も大きい配色グループは無彩色の配色で、以下中差色相、無彩色と有彩色の配色、対照トーン、対照色相、類似色相、同一トーン、類似トーン、同一色相の順であった。

次に各2色配色を構成している単色の集計結果を Table 4 に示す。比較しやすいように配色基準別にまとめた。今回は、配色を構成している2色のうち1色でも好き、嫌いと答えたものにも、2色とも好き、嫌いと答えたものと同じ配点をした。2色とも好き、2色とも嫌いおよび好きでも嫌いでもどちらでもないとの関連についての調査は今後の課題としたい。

単色における“好き-嫌い”の差の大きい順に、配色基準別にまとめると、無彩色の配色、同一色相、対照色相、対照トーン、無彩色と有彩色の配色、類似トーン、類似色相、同一トーン、中差色相であった。

配色、単色ともに1位は無彩色の配色であった。配色の2位中差色相は、単色では最下位であった。

## 配色とその構成色との嗜好間の相関

中差色相は調和しにくい配色で、それだけ個々の嗜好に差がやすい。被験者の配色の好みの個性がとらえられたといえよう。

Table 3 配色基準別の2色配色集計値

配色基準(試料数)	集計値	好 き な 2 色 配 色					嫌 い な 2 色 配 色				
		最 高 値	最 低 値	平 均 値	標 準 偏 差	平均値/試料数	最 高 値	最 低 値	平 均 値	標 準 偏 差	平均値/試料数
同 一 色 相 ( 7 )		7	0	3.26	1.409	0.466	7	0	2.65	1.535	0.379
類 似 色 相 ( 8 )		6	0	2.62	1.660	0.328	8	0	3.77	1.712	0.471
中 差 色 相 ( 11 )		6	0	2.22	1.576	0.202	11	0	6.53	2.225	0.594
対 照 色 相 ( 11 )		9	0	3.51	2.105	0.319	10	0	5.13	2.398	0.466
無彩色の配色 ( 5 )		5	0	2.84	1.729	0.568	4	0	0.60	1.010	0.120
無彩色と有彩色の配色 ( 8 )		5	0	1.61	1.452	0.201	8	0	4.42	2.047	0.553
同 一 ト ーン ( 12 )		9	0	4.29	2.119	0.358	11	0	5.77	2.284	0.481
類 似 ト ーン ( 19 )		14	0	6.27	3.161	0.330	19	0	8.05	3.589	0.424
対 照 ト ーン ( 19 )		13	0	5.51	3.107	0.290	17	1	9.27	3.372	0.488

Table 4 配色基準別の構成色(単色)集計値

配色基準(試料数)	集計値	好 き な 2 色 配 色					嫌 い な 2 色 配 色				
		最 高 値	最 低 値	平 均 値	標 準 偏 差	平均値/試料数	最 高 値	最 低 値	平 均 値	標 準 偏 差	平均値/試料数
同 一 色 相 ( 7 )		7	0	4.47	1.534	0.639	7	0	2.71	1.658	0.324
類 似 色 相 ( 8 )		8	0	4.56	1.883	0.570	8	0	3.42	2.054	0.428
中 差 色 相 ( 11 )		11	0	5.34	2.479	0.485	11	0	5.82	2.602	0.529
対 照 色 相 ( 11 )		11	1	7.10	2.666	0.645	10	0	4.35	2.724	0.395
無彩色の配色 ( 5 )		5	0	3.55	1.391	0.710	5	0	0.91	1.360	0.182
無彩色と有彩色の配色 ( 8 )		8	0	4.62	2.274	0.578	8	0	3.10	2.172	0.388
同 一 ト ーン ( 12 )		12	1	6.60	2.365	0.550	12	0	4.94	2.630	0.412
類 似 ト ーン ( 19 )		19	2	11.34	4.079	0.597	18	0	7.83	4.329	0.412
対 照 ト ーン ( 19 )		19	2	11.64	4.086	0.613	18	0	7.47	4.436	0.393

Table 5 単 色 嗜 好

	トーン記号	系 統 色 名
好 か れ る 色	1 W(9.5)	white
	2 P12	pale green
	3 lt24	purplish pink
	4 lt14	light turquoise
	5 b12	bright green
嫌 わ れ る 色	1 dp4	deep reddish orange
	2 d6	light yellowish brown
	3 g24	graish red
	4 ltg4	graish pink
	5 dp10	deep yellow green

以上の結果から、好かれる配色上位は、無彩色の配色と同一色相による配色であるが、前者は嫌われる率は低いが後者は嫌われる率も高い。

無彩色は、ここ数年の被服などの流行色であり、それが多少影響しているのではないだろうか。調査時期も11月末で、もし暑さを感じる時期での調査であれば、異なった結果がでたと予想される。

同一色相による配色は、色相の共通性によってまとまりやすいが、単調にもなりやすい。そのため個人差が大きく左右したと思われる。"好き-嫌い"の尺度で示される嗜好感情は、個人差の最も大きい配色感情であるといえよう。

次に配色を構成している単色の嗜好率、嫌悪率の高いもの上位色を選んで一覧表にしたのが Table 5 である。この結果から、明色を好み、中間色で比較的暗い色を嫌う傾向がみられた。トーンにはっきり違いがあるのがわかる。

## 3.2 配色および単色における嗜好間の相関

Table 6 2色配色と構成色（単色）との嗜好間の相関係数

配色基準	単色配色	好 き	嫌 い
同一色相	好き	0.310	-0.430
	嫌い	-0.234	0.603
類似色相	好き	0.466	-0.280
	嫌い	-0.294	0.545
中差色相	好き	0.523	-0.348
	嫌い	-0.296	0.480
対照色相	好き	0.562	-0.251
	嫌い	-0.557	0.524
無彩色の色	好き	0.397	-0.199
	嫌い	-0.001	0.550
有彩色の色	好き	0.495	-0.341
	嫌い	-0.162	0.446
同一トーン	好き	0.443	-0.234
	嫌い	-0.282	0.498
類似トーン	好き	0.618	-0.336
	嫌い	-0.368	0.628
対照トーン	好き	0.501	-0.301
	嫌い	-0.226	0.623

配色基準別に、配色および単色における嗜好間の相関係数を求めた結果を Table 6 に示す。

各配色グループとも、配色と単色の“好き-好き”“嫌い-嫌い”については相関係数0.310～0.628で中位の正の相関となった。予測では、もう少し強い相関を示すものと期待していた。

“好き-好き”での配色基準別の相関の強さの順位は、類似トーン、対照色相、中差色相、対照トーン、無彩色と有彩色の配色、類似色相、同一トーン、無彩色の配色、同一色相となった。

“嫌い-嫌い”での相関の強さの順位は、類似トーン、対照トーン、同一色相、無彩色の配色、類似色相、対照色相、同一トーン、中差色相、無彩色と有彩色の配色となった。

類似トーンは、好き、嫌いともに0.600以上のやや強い正の相関を示した。

相反した“好き-嫌い”の関連は負の相関となり、正の相関係数と比べて全体に値が低い。

特に無彩色グループの“嫌い（配色）-好き（単色）”では、-0.001となりほとんど直線的な関係がないことを示している。

以上の結果のいくつかを散布図にし、Fig. 1～4に示す。直線は回帰直線である。

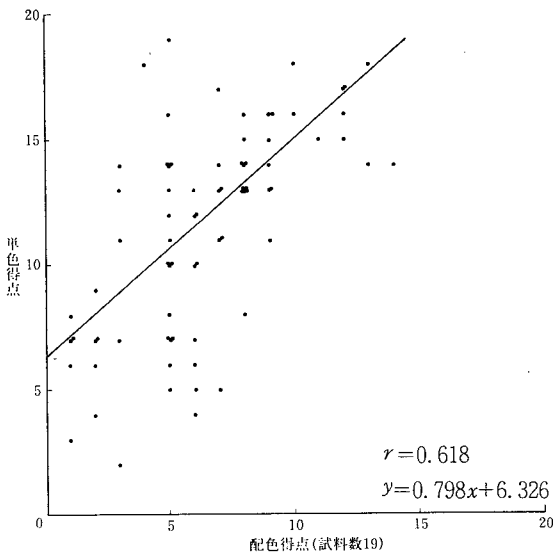


Fig.1 類似トーンにおける2色配色・好きと構成色（単色）・好きの相関

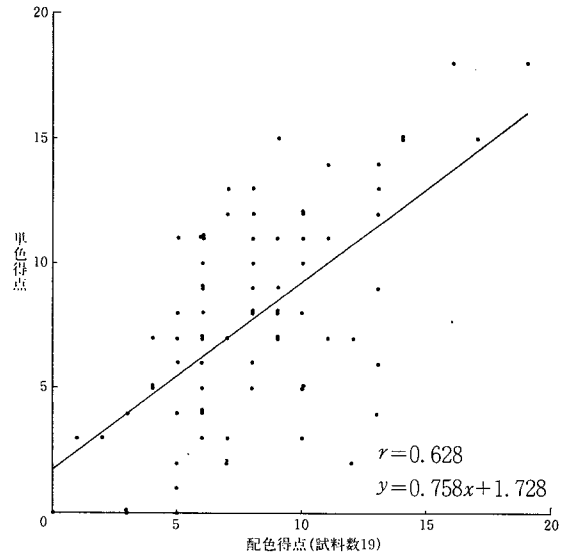


Fig.2 類似トーンにおける2色配色・嫌いと構成色（単色）・嫌いの相関

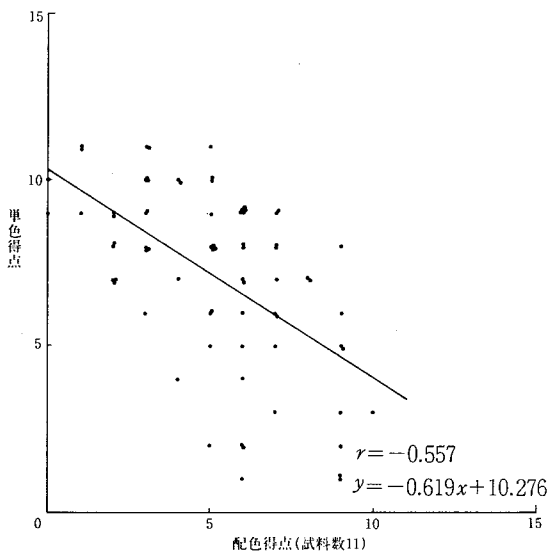


Fig.3 対照色相における2色配色・嫌い  
と構成色（単色）・好きの相関

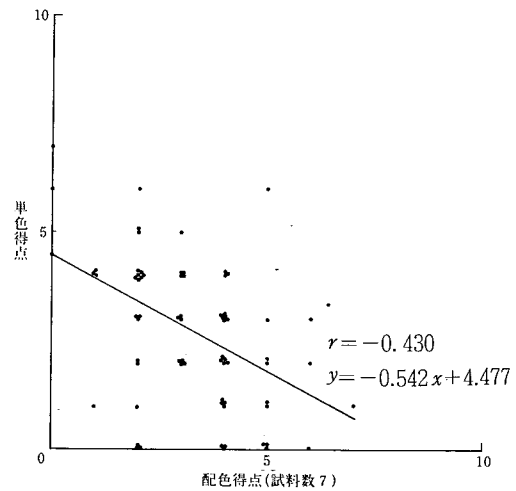


Fig.4 同一色相における2色配色・  
好きと構成色（単色）・嫌い  
の相関

#### 4. ま と め

今回の調査は、配色と単色との嗜好間の関連を検討するため実施したものであるが、その結果をまとめてみると次のようになる。

(1)好きな配色・単色得点および嫌いな配色・単色得点の間の関係の度合は、中度からやや強いにいたる正の相関係数が得られた。

(2)好きな配色・嫌いな単色およびその逆の得点間の関係の度合は、弱いから中度にいたる負の相関係数が得られた。(1)に比べ相関係数の差が大きく、無彩色の配色での関連に無相関に近い結果がでた。

今後の課題として、“好き-嫌い”だけでなく、さらに多くの尺度を用いて分析し、配色と単色間の嗜好感情の関係を明確にしたい。

#### 引用・参考文献

- 日本色彩研究所編著：基本色彩掛図（色感テスト編） 日本色研事業株式会社  
 日本色彩研究所編：ハーモニックカード166色 日本色研事業株式会社  
 日本色彩学会編：新編色彩科学ハンドブック 東大出版会（1980）